

平成26年 8月 25日

守谷市議会議長 殿

報告者 高橋 典久 印

文教福祉常任委員会 観察・研修報告

標記の件について、次のとおり 実施 ・ 参加 したので報告します。

観察・研修日	平成26年 7月11日 (金)	
観察・研修場所	秋田県仙北市	
観察・研修項目	「全国学力・学習状況調査」における結果分析等について	
参加者	守谷市側	高橋, 高梨(恭), 川名, 佐藤(剛), 渡辺, 高梨(隆) 教育部長 豊谷, 議会事務局 槙野
	相手側	教育長 熊谷 教育次長 田口 教育指導課 浦山
観察・研修目的	全国学力調査結果が上位である理由や学習状況を調査研究し、守谷市の取り組みに反映させていく。	
観察・研修内容	別紙のとおり	
観察・研修総括 (今後の取組み等)	秋田県, 仙北市という土地柄, 世帯構成や教育環境の違いも大きな要因となっているが、我が守谷市においても学力・学習状況調査の結果を基に教育及教育施策の成果と課題を把握しその改善を図り教育環境を更に充実させていく。	

視察・研修内容

<全国学力・学習状況調査>

●仙北市結果分析・改善委員会について（HPで市民に公開）

4月上旬 仙北市標準学力調査（市の独自調査）

4月下旬 仙北市教職員の集い 市における成果と課題、改善策等について共通理解

4月下旬 全国学力・学習状況調査実施 自己採点、集計、分析

5月 「確かな学力推進計画書」作成 → 改善に向けた取り組み

6月 仙北市標準学力調査結果配信 → 改善に向けた取り組み

12月 秋田県学習状況調査（県の独自調査）

※自校採点、集計、分析 ※自校の成果と課題を検証

1月 仙北市結果分析・改善委員会

※市における成果と課題、改善策等について検討

2月 仙北市結果分析・改善委員会報告書の公開

●昨年度の検討内容について

（1）授業改善の視点から

- ・育てたい力を明確化した授業構築 ・思考力・判断力・表現力等の育成に向けた言語活動の充実 ・児童・生徒の「問い合わせ」を生かした授業 ・児童・生徒の学習意欲に結びつく指導 ・基礎・基本の定着と個に応じた指導の一層の充実

（2）全校体制の取り組みの視点から

- ・研修・研究の在り方等について（教科枠を超えた全校体制での取り組み）

- ・ノート指導の充実等、各校の重点的な取り組みについて

- ・小・中の連携について（9年間の系統性・連続性）

（3）授業以外の学習機会の活用の視点から

- ・朝の学習時間、放課後の時間を活用する ・地域の人材を活用する

- ・授業を含めた多様な学習機会を活用したときの学習内容、学習方法が、有機的に連結するように吟味し、それを学習（連結）計画表として明記する。

●県の指導主事と市の指導主事が年に数回会い、共通認識を得る

※秋田県は県教育委員会と市教育委員会の距離も近い

●学校体制でPDCAサイクルの確立（年間のスケジュールとして確立）

●学年×10分を家庭学習の目安とする。（例）小3：30分 中2：80分

●「生きる力をつける」事が学習の一番の目的であり、学校の序列が分かったとしてもそれはあくまで教育の一環であるという認識